

## 喝杯咖啡休息一会儿⑮

### “好像刚才你们打来了电话…”

大家好！在日语中，请求别人帮忙或向别人提问时，往往不说出具体的内容，而是让对方自己去觉察。从某种意义上来说，这反映了日本式的习惯，对外国人来说，可能是难以理解的表达方式。对于这种表达方式，的确曾有人指出：“为什么不能说得更直接一点儿”，但这是日语的特征之一，这次我们想跟大家一起来思考一下为什么使用这样的表达。



让我们想一想在类似下列（1）的情况下，应该使用怎样的表达。

- (1) 自動販売機でお茶を買ったとき、釣銭がでませんでした。お店の人に釣銭をもらってください。  
在自动售货机里买茶时，找钱没出来，请向店员要找钱。



此时，举一个例子说：“找钱没出来”，那说话人只说明了“找钱没出来”的情况，而没有接着说出最想让对方知道的请求内容“请给我找钱”。这就是说话人在向听话人告知现状的基础上，让听话人自己去觉察说话人希望自己做什么的表达。那么，为什么要用这样的表达呢。这是因为只要告知了“找钱没出来”的情况，店员就

## コーヒーフレイク⑮ 「先ほどお電話をいただいたようなんですが…」

みなさんこんにちは。日本語には、依頼や質問をするとき、内容を最後まで言わないで、聞き手に察してもらって表現があります。ある意味日本的な習慣を反映していて、わかりにくい表現かもしれません。このような表現に対して、「何でもっと直接的に言わないのか」といった声を耳にするのも事実ですが、日本語の特徴の一つなので、今回、どうしてこのような表現を使うのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

例えば次の(1)のような状況で、どのような表現が使われるか考えてみましょう。

こんなとき、例えば「釣銭が出てこないんですが…」と言います。話し手は、状況説明の部分「釣銭が出てこない」ということだけを伝え、その後ろに続く一番伝えたいはずの依頼の部分「釣銭を出してください」ということはくちだしません。これは、話し手が聞き手に現状を伝えただ上で、どうしてほしいのかという部分を聞き手に察してもらおうとする表現です。それでは、どうしてこのような表現を使うのでしょうか。それは、「釣銭が出てこない」という状

理所当然地会觉察到顾客想拿到找钱。而要是将对方能觉察到的事再特意说出来的话,就有强迫命令的感觉,因此一般会避而不说。这样的表达是日语的特点之一,只能慢慢去习惯。

像这样不说出请求内容而让听话人自己觉察的表达在打电话时常常作为习惯用语使用。例如:最近的电话里大多留有来电显示,大家对留在电话里的来电显示是怎么处理的呢?遗憾的是近年世风日下,对于陌生的电话号码我们大都会无视吧。另一方面,若是看到像日语学习班那样日常利用的设施的电话号码,则会回电询问有什么事,此时,大家会怎么对接电话的人说呢?请想一想以下(2)中的适当表达。

況さえ伝えれば、お店の人はお客が釣銭を出してほしいのだと当然推察できるからです。そして、その推察できることを、あえて言葉にするのは押しつけがましい気がして言わないということなのです。このような表現は、日本語の特徴の一つとして、慣れていくしかないかもしれません。

このように内容を最後まで言わないで、聞き手に察してもらおうといった表現は、電話会話のとき、決まり文句として使えるものが少なくないので少し取り上げます。例えば、最近の電話は着信履歴が残る場合が多くなってきていますが、皆さんは、着信履歴に番号が残っていたとき、どのように対応していますか。最近は、残念ながら物騒な世の中になってしまったこともあり、多くの場合、知らない電話番号だったら無視しますよね。一方で、日本語教室のように日常的に利用している施設の電話番号だったときは、何の用事かこちらから電話を掛けて聞いてもいいですね。そんなとき皆さんは、電話の受け手に対してどのように用件を伝えますか。下の(2)の( )に適切な表現を考えてみてください。

(2)



此时,可以使用“好像刚才你们打来了电话…”这句习惯用语。这句话完整地说,就是“好像刚

この場合の決まり文句として「先ほどお電話をいただいたようなんですが…」という表現があります。もし完全な文にする

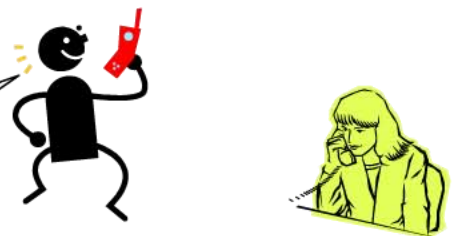
才你们打来了电话，请问有什么事儿？”，但一般不会这么完整地说。这也是因为打电话者在向接电话者告知了“刚才好像接到了你们的电话”这一现状后，让接电话者自己去觉察打电话者未说出口的“有什么事儿？”这个部分。

那么，打电话时，若对方声音小难以听清而希望对方大点儿声说话时，应该怎么说呢？

と、例えば「先ほどお電話をいただいたようなんですが、どのようなご用件でしょうか」となりますが、このような完全な文で話すことは一般的ではありません。これも、電話の掛け手が受け手に「先ほど電話をもらったようだ」という現状を伝えた上で、掛け手が口に出していない部分「どのようなご用件でしょうか」を受け手に察してもらおうとしているのです。

また、電話中に、相手の声が小さくて聞こえにくいので大きい声で話してほしいとき、どのように言えばいいでしょうか。

あの一、嗯一、  
〔 〕



此时，一般使用诸如“嗯一，电话声音有点儿小…”之类的表达，而不会使用类似“请再大点儿声说”之类的直接的表达。这也可以说是在向接电话者告知了打电话者的现状后，让接电话者自己去觉察打电话者希望自己大点儿声说话的心情的表达。

类似的情况还有很多，以下场合应该用什么样的表达呢？

この場合は例えば、「あの一、ちょっと電話が遠いんですが…」のような表現が使われます。「もっと大きい声で話してください」というような直接的な表現は使わないんですね。これもまた、掛け手側の現状を受け手側に伝えた上で、大きい声で話してほしいという掛け手の心の内を、受け手に察してもらおう表現だといえます。

他にもいろいろありますよ。次のような場面では、どのような表現が考えられるでしょうか。

(3) 日本語を勉強<sup>べんきょう</sup>していて、わからないところがありました。先生<sup>せんせい</sup>に聞きましょう。

在学习日语时，遇到不懂的地方，向老师询问。

あの一、嗯一、  
〔 〕



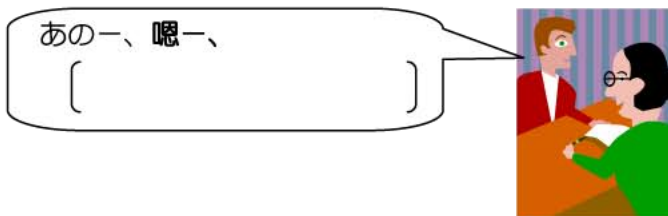
(4)改札口を出ようとしたとき、切符がないことに気がつきました。駅員に一言！

要走出检票口时，发现车票没有了，于是去对车站工作人员说



(5)病院に行くとき、通訳を依頼したいです。そこで役所に行ってお願ひしましょう。役所の担当者一言！

去医院时，要请翻译，于是去政府机关申请，与工作人员说一句。



最后，这些表达方式之所以普遍使用，也是因为在说话人期待听话人自己觉察的同时，听话人也能够“不负说话人的期待”而行动的缘故。因此，可以说这是只有在双方具有同样的习惯时才得以成立的表达。习惯不是只见闻一次就能掌握的，需要在仔细观察，向人请教的同时，渐渐地去理解、习惯。(M)

最後に、これらの表現が通用するという事は、話し手が聞き手に察してもらえらることを期待している一方で、聞き手がその期待どおりに行動できるということでもあります。お互いが同じ習慣を共有しているからこそ成立する表現だといえるでしょう。習慣というのは1回見聞きしただけで身に付けられるものではありません。よく観察したり、教えてもらったりしながら、少しずつ理解し、慣れていきましょう。(M)

解答例：(3)「あの一、ここがわからないんですが…」  
 “嗯一，我这儿不懂…”  
 (4)「あの一、切符をなくしてしまったようなんですが…」  
 “嗯一，我可能把车票弄丢了…”  
 (5)「あの一、病院で日本語が心配なんですが…」  
 “嗯一，我担心在医院日语不通…”